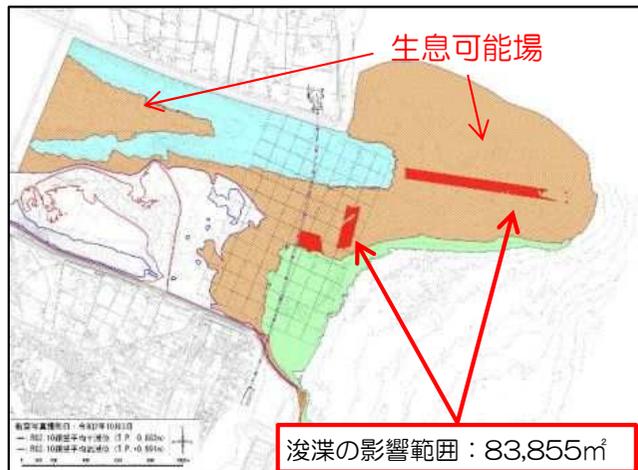


■ 架設桁撤去の浚渫による影響評価 ～ハビタット区分1の指標種に対する影響評価～



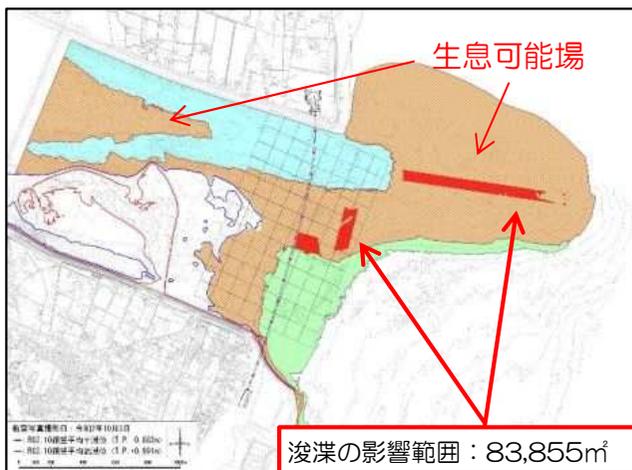
架設桁撤去の浚渫の影響範囲はハビタット区分1と2であるため、双方の指標種に対して影響評価を行った。区分1に対する影響値を検討した結果、**フジノハナガイ**に対して**4.0%**、**バカガイ**、**ヒサシソコエビ科**に対して**4.1%**の影響になることが推定された。なお、指標種への影響を検討するための区分1のモデルはP5で作成したモデルを使用した。

■ フジノハナガイへの影響範囲



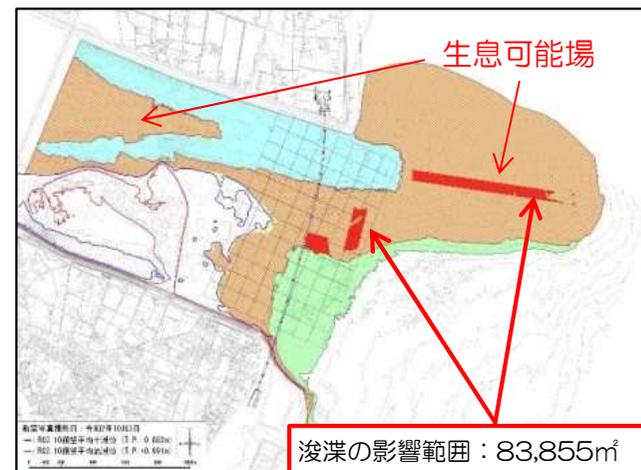
項目	フジノハナガイ
生息可能場面積 (m ²)	2,084,804
浚渫面積 (m ²)	83,855
浚渫の影響評価	4.0%

■ バカガイへの影響範囲



項目	バカガイ
生息可能場面積 (m ²)	2,064,140
浚渫面積 (m ²)	83,855
浚渫の影響評価	4.1%

■ ヒサシソコエビ科への影響範囲



項目	ヒサシソコエビ科
生息可能場面積 (m ²)	2,050,133
浚渫面積 (m ²)	83,855
浚渫の影響評価	4.1%

～ まとめ ～

架設桁撤去に伴う区分1の指標種に対する浚渫の影響評価結果

- 架設桁の撤去に伴う浚渫の影響範囲は区分1と区分2に対して、影響を与える。(区分1：影響値4.0% 区分2：影響値6.6%)
- 区分1の指標種に対する影響は、フジノハナガイ4.0%、バカガイ4.1%、ヒサシソコエビ科4.1%と推定(※定量評価)
- 過去の検討会で報告した浚渫の影響範囲よりも小さくなることが予測される。